

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	23023	
事業名	少年団体活動促進費						
評価担当課	所属名	子)子ども育成 子どもの権利推					
	課長名	山縣 浩子	担当者名	北川 絵美莉、中村	電話番号	011-211-2942	
施策名	主	子ども・若者を社会全体で育成・支援する環境づくり					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	子どもの自主性や豊かな人間性を育むため、子ども達に様々な体験の機会や異年齢交流の場を提供する。				
		長期	次世代の青少年活動を担う人材を育成し、少年団体の円滑な活動と活性化を図る。				
	取組内容	<p>様々な体験活動を通して、子どもの自主的な社会参加、連帯意識の向上を促し、青少年活動を担う人材を育成しながら、子ども会等少年団体の円滑な活動と活発化を図る。</p> <p>①ジュニアリーダー養成研修の企画・実施業務 ②少年団体加入促進を目的とした広報支援 ③少年団体等の活動の場である市内3か所(厚別区、豊平区、手稲区)の事業用地(青少年キャンプ場)の管理運営 ④少年団体活動に係る本庁経費</p>					
実施結果	①ジュニアリーダー養成研修を実施。基本研修を56回実施し、受講者は延べ887名。②市内小学校、児童会館・ミニ児童会館に配布される「エコチル」に各団体の広報記事を掲載。③青少年キャンプ場は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、一定の利用条件を設けたほか、緊急事態宣言が発令された期間は、利用を中止としたため、利用者は0名。						
事業実施における工夫点	事業の実施にあたっては、チラシの配布・ホームページ掲載等により、広く市民に周知した。また、少年団体への加入促進を目的に、市内の児童に対し、広く団体のPRを行った。						
対象者	札幌市内在住の子ども			開始	昭和48年度	終了	0年度
関連法令・条例・要綱等							
他都市の状況	政令市のうち、委託2市、補助16市						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	108,344	121,000	113,508	119,000	
うち特定財源	0	0	0	0	
人工	0.9	0.9	0.9	1.0	
人件費	6,480	6,480	6,480	7,200	
計(事業費+人件費)	114,824	127,480	119,988	126,200	
事業費の内訳	令和3年度決算	①ジュニアリーダー養成研修企画・実施業務委託料:106,865千円 ②少年団体活動促進事業広報誌等:891千円 ③事業用地土地賃借料、修繕費等:3,101千円 ④本庁経費:2,011千円 ⑤札子連補助金:640千円			
	令和4年度予算	①ジュニアリーダー養成研修企画・実施業務委託料:106,544千円 ②少年団体活動促進事業広報誌等:924千円 ③事業用地土地賃借料、修繕費等:6,057千円 ④本庁経費:3,675千円 ⑤札子連補助金:1,800千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	少年団体加入者数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	26,148名	28,875名	16,114名	16,239名	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	B	集団活動に必要な知識及び技術を学ぶジュニアリーダー養成研修のほか、地域の教育機関や企業等と連携・協力した研修等を実施することにより、子どもの自発的活動及び体験機会の充実を図るとともに、研修の成果が地域に還元され、「子どもの権利を尊重し、子どもの輝きがすべての市民を笑顔で結ぶまち」という「新・さっぽろ子ども未来プラン」の基本理念に沿うものになっている。また加入者については、新型コロナウイルス感染症の影響等により減少傾向にある。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	ジュニアリーダー養成研修では、例年程度の参加者数を確保している。研修の実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を講じながら、引き続き現状の規模で実施することが適切である。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	ジュニアリーダー養成研修においては、子どもの体験活動に関する専門知識、技術及び豊富な経験を有する(公社)札幌市子ども会育成連合会に委託することにより効率的に実施しており、身につけた知識やノウハウを地域活動において地域住民に還元するほか、研修受講者以外の子どもたちの体験活動の機会の充実も図っている。また、青少年キャンプ場の事業用地の管理においても、ジュニアリーダー養成研修の実施と一体的に行うことで、効率的に運用している。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに込えているか)	A	様々な体験活動や異年齢交流を通じて、子どもたちは楽しみながら自主性、協調性及び規範意識を見つけることができている。研修後のアンケートでも「楽しかった」「また参加したい」という回答が多い等、満足度の高い事業であるといえる。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	子どもの生活環境の変化、出生数の減少、新型コロナウイルス感染症の影響等により、少年団体で活動する子どもは減少傾向にあることから、これまで以上に加入促進に力を入れていく必要がある。ジュニアリーダー養成研修では、地域の大学や企業等と連携した体験講座の充実を図り、子どもたちのニーズに沿った事業展開を盛り込む等、新たな参加者の確保に力を入れていく必要がある。				
前回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0 千円	
今回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	子どもたちが様々な体験活動や異年齢交流を通じて、自立した社会性のある大人に成長するために必要な経験を得る機会であり、本市の将来を担う人材の育成に寄与していることから十分な成果のある事業である。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="radio"/> 改善 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 休止・廃止 新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じながら、実施方法を、集合形式やオンライン形式等、適切な方法で、継続して事業を実施する。			
	予算	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> その他		見直し効果額	0 千円
		新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じながら、実施方法を、集合形式やオンライン形式等、適切な方法で、継続して事業を実施する。		見直し効果額	0 千円